

第11回市議会定例会

一般、特別、企業会計総額で8億4,716万5千円の補正予算を可決

苫小牧市墓地条例の一部改正についても可決

本会議場で一問一答方式を本格実施

第11回市議会定例会は、6月15日（木）から6月23日（金）まで開かれ、報告6件、議案13件、諮問1件、要望意見書2件などの審議が行われました。

今定例会から本会議場での一問一答方式が本格実施となり、一般質問では7党派20人の議員より質問があり、駅前開発、市営住宅、がん対策、防災対策、空き家対策、（仮称）市民ホール、IR（カジノを含む統合型リゾート）などについて議論が行われました。

また、各常任・特別委員会では、苫小牧市バリアフリー特定事業計画、苫小牧市共同墓の制度概要、公設地方卸売市場のあり方についての取組経過、下水道使用料の未徴収、市営住宅外壁落下事故、統合型リゾート（IR）、苫小牧市避難行動要支援者避難支援計画（案）、市民ホール基本計画策定の取組状況などについて質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

◆報告

一般会計の平成27年度から平成29年度までの継続事業で実施している沼ノ端クリーンセンター長寿命化基幹改良事業ほか1事業の平成28年度予算現額の一部を29年度へ繰越し、平成28年度補正予算で追加した繰越明許費の戸籍住民登録事務経費ほか9事業について29年度へ繰越すことが報告されました。また、水道事業会計の平成28年度から平成29年度までの継続事業で実施している錦多峰浄水場送水ポンプ更新工事の平成28年度予算額を29年度へ繰越すことが報告されました。

このほか、市営住宅の明渡しと滞納家賃の支払いを求める訴えの提起、救急自動車の物損事故に係る損害賠償の額の決定、出資法人等の経営状況が報告されました。

◆議案

（農業委員会委員の任命）

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、選出方法が選挙制及び選任制から、全て議会の同意を要件とする市長の任命制に変更となり、引き続き丹羽秀則氏、及川末男氏、山内幸子氏、今泉宏治氏、野村真理子氏、新たに五十嵐堅司氏、中岡亮太氏を任命することに同意しました。

（平成29年度補正予算等）

新千歳空港国内線ターミナルビルでイベントに出展するための費用として道内への移住・定住促進事業費55万8千円、植苗地区テレビ共同受信施設増設事業費1,779万9千円、植苗地区道営住宅関連用地測量事業費209万6千円、スポーツ施設整備費2,512万円、平成27年度及び28年度に実施した臨時福祉給付金等の支給漏れのための臨時福祉給付金等追加支給事業費120万9千円、消防法の改正に伴いスプリンクラー設置経

費を補助する既存介護施設等スプリンクラー設備等整備事業費 1 5 1 万 6 千円、既存高齢者施設等防犯対策強化事業費 1 1 9 万円、医療介護連携推進施設整備補助金 3, 2 0 0 万円、新千歳空港 2 4 時間運用拡大に伴い地域振興策として建設する沼ノ端鉄北地区複合施設整備事業費 5 億 2, 2 5 1 万 7 千円、今年度から実施する胃がん検診の内視鏡検査を保健センターで実施するために保健センター医療機器整備事業費 1, 7 4 1 万 1 千円、ウトナイ交流センター展望施設整備事業費 1, 1 0 2 万 4 千円、平成 2 6 年 2 月に発生した学校事故に係る賠償金 2 1 1 万 1 千円など、平成 2 9 年度一般会計補正予算 8 億 1, 9 9 6 万 5 千円の増額補正が原案どおり可決されました。

霊園事業特別会計では、共同墓の受付開始による使用料及び管理料の設定による歳入の増額に伴い、当初予算の財源更正及び管理料の 2 分の 1 を今後の修繕として基金に積み立てる霊園管理基金積立金で 2 0 万円の増額、水道事業会計では、植苗ポンプ場非常用発電機設置工事として 2, 7 0 0 万円の増額補正が原案どおり可決されました。

(条例の一部改正)

行政手続における特定の個人を識別するための「苫小牧市個人情報保護条例及び苫小牧市情報公開・個人情報保護審査会条例」及び「苫小牧市個人番号の利用に関する条例」、雇用保険法の改正に伴う「苫小牧市職員の退職手当に関する条例」、共同墓の設置に伴い使用許可の要件を定め、使用料及び管理料を設定するため「苫小牧市墓地条例」の一部改正について原案どおり可決されました。

(土地の譲渡)

沼ノ端南工業団地の一部の市有地を譲渡することについて原案どおり可決されました。

(契約の締結等)

地方自治法及び条例の規定による一般競争入札で、緑ヶ丘公園サッカー場改修工事 3 億 2 0 7 万 6 千円、拓進小学校校舎増築主体工事 1 億 6, 4 1 6 万円の契約の締結について原案どおり可決されました。

また 4 0 m 級はしご付消防自動車 2 億 3, 3 2 8 万円、化学消防ポンプ自動車Ⅱ型 7, 8 8 4 万円の動産の取得についても原案どおり可決されました。

◆ 諮 問

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について、引き続き鶴巻安子氏、新たに川村卓司氏を推薦することに同意しました。

◆ 意見書

「ギャンプル等依存症対策の抜本的強化を求める要望意見書」、「平成 2 9 年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書」の 2 件が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。